| 学校番号 | ２１１ |
|---|---|

# 令和８年度　家庭科

| 教科 | 家庭 | 科目 | 保育基礎 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 家庭 706 保育基礎 ようこそ,ともに育ち合う保育の世界へ　（教育図書） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもの発達の特性や発達過程を学習し、幼稚園交流を通して体験的・実践的活動を行います。実験・実習を通して技術を身につけると共に、現状における課題などについても考えてください。

2　学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に 理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
（2）子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
（3）子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技術 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 保育に関する基礎的･基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。 | 子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。 | 子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 1章子どもの | 1節　保育の意義<br>1保育とは<br>2 保育の意義 | a:子どもの人格形成における保育の重要性を理解している。<br>b:子どもの保育の特徴について要点をまとめることができる。 | ワークシート<br>実習レポート | ワークシート<br>実習レポート | ワークシート<br>実習レポート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 保育 | 2節　保育の方法<br>　1 保育者の役割とは<br>　2 一人ひとりに合わせた指導 | c:保育の意義について、自分自身が親や保育者になることを考えるなど、自分の人生観と結びつけて考えようという姿勢が見られる。 | | | |
| | | 3節　保育の環境<br>　1 家庭での保育<br>　2 幼児教育・保育の場<br>　3　子どもが育つ環境の変化と課題 | a:家庭での養育と集団保育の役割、子育ての現状と課題、国の子育て支援の内容、保育所や幼稚園、認定こども園における保育・教育の特徴を理解している。<br>b:　現在の子育て家庭が集団保育に求めていることについて、子育て環境の変化などと関連させながら具体的に考察することができる。<br>c:身近な保育・教育施設について関心をもち、ホームページからその特色を調べるなど自ら情報を収集しようとする姿勢が見られる。 | ワークシート<br>実習レポート | ワークシート<br>実習レポート | ワークシート<br>実習レポート |
| | 2章　子どもの発達 | 1節　子どもの発達の特性<br>　1 発達と保育<br>　2 発達の共通性と個別性 | a:子どもの発達の共通性・個別性、誕生から幼児期までの子どもの身体発育、運動機能、認知機能などそれぞれの発達の特性について理解している。<br>b:発達の各側面が相互に関連し合っていることを読み取り、具体的に考察することができる。<br>c:それぞれの月齢・年齢ごとの身体的・生理的特徴に関心を持ち、保育に関連づけて考えようとする姿勢が見られる。 | 小テスト<br>ワークシート<br>実習レポート | 小テスト<br>ワークシート<br>実習レポート | ワークシート<br>実習レポート |
| | | 2節　子どものからだの発達<br>1　発育・発達の評価<br>2　身体的特徴<br>3　生理的特徴 | | | | |
| | | 3節　子どもの心の発達<br>1 社会・情緒的な発達<br>2 知的発達<br>3 言葉の発達 | | | | |
| | | 特集　月齢、年齢別の発育・発達 | | | | |
| | 4章　子どもの文化 | 1節　子どもの文化の意義と支える場<br>1　子どもの文化<br>2　子どもの文化を支える場 | a:絵本や遊び、歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達とどのような関わりを持つか理解している。<br>b:子どもの文化や遊びの意義を理解し、それらの役割や今後の課題について | ワークシート<br>実習レポート | ワークシート<br>観察<br>実習レポート | ワークシート<br>観察<br>実習レポート |
| | | 2節　子どもの遊びと表現活動<br>　1遊びと発達<br>　2遊びと表現活動 | | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 子どもとかかわってみよう(保育実習) | 考察することができる。<br>c:子どもの発達や特性をふまえた上で、子どもの遊具等の作成に取り組み、子どもの遊びや表現活動に関連する技術を身につけようとする姿勢が見られる。 | | | |
| 2 | 3章 子どもの生活 | 1節　子どもの生活と養護<br>1 生活と健康<br>2 栄養と食事<br>3 衣生活<br>2節　生活習慣の形成<br>1子どもの生活習慣<br>2基本的生活習慣<br>3社会的生活習慣 | a:子どもの食生活や衣生活について子どもの健康的な生活を支える保育の基礎的な技術を身につけている。<br>b:子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法について考察することができる。<br>c:子どもの生活に関心を持ち、主体的に子どもの生活を理解しようとする姿勢が見られる。 | 小テスト<br>ワークシート<br>実習レポート | 小テスト<br>ワークシート<br>観察<br>実習レポート | 小テスト<br>ワークシート<br>観察<br>実習レポート |
| | | 3節　健康管理と事故防止<br>1子どもの健康管理<br>2事故の防止と応急処置 | a:子どもの健康管理や事故防止について、健康状態の観察のポイントや予防接種、事故の実態や原因などを理解している。<br>b:子どもにおこりやすい事故を予測し、その対策を考察することができる<br>c:子どもたちの自由な生活を確保しつつ事故を防ぐにはどうしたらよいかなど、保育者の視点で課題に取り組む姿勢が見られる。 | | | |
| 3 | 5章 子どもの福祉 | 1節　子ども観<br>1 子ども観の変遷<br>2 権利の主体としての子どもへ<br>2節　子どもの福祉<br>1児童福祉<br>2子どもをとりまく課題と対策<br>3子どもが育つ社会環境<br>3節　子育て支援<br>1子育て支援からパートナーシップへ<br>2社会的養護<br>3地域の子育て支援 | a:子ども観の変遷や、権利の主体として尊重されつつある状況を理解している。<br>b:児童虐待の現状と対策について考察することができる。<br>c:子育ての現状をふまえて、これからの子育て支援を考えようとする姿勢が見られる。 | ワークシート<br>実習レポート | ワークシート<br>実習レポート<br>観察 | ワークシート<br>実習レポート<br>観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度